

## 2期目トランプ政権下の米国と日本の課題

共同通信社客員論説委員  
会田弘継



- \*トランプ再選が意味するものは何か
- \*大きな転換点は2016年
- \*トランプの登場は病因ではなく結果
- \*地滑りの勝利の背景は何か
- \*移民問題は人権より経済の問題
- \*富裕層の民主党、貧困層の共和党
- \*オバマ政権とは何だったのか
- \*所得格差拡大と救済されなかった中間層
- \*人類社会を動かす思想界との運動について
- \*日本でも世代間の競争が激化

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

本日の講師をご紹介します。ジャーナリストで思想史家、そして共同通信の客員論説委員をなさっていらっしゃいます。会田弘継先生でございます。先生は、東京外国語大学の英米語学科を卒業されまして、共同通信に入社されて、ワシントン支局長、それから論説委員長も務められました。青山学院大学で教授として教鞭を取っていらっしゃることもあります。

『週刊東洋経済』のほうで定期的にご寄稿いただいております。また、東洋経済オンラインのほうにも登場いただいておりますけれども、先日はこの同じテーマで動画で対談もしていただきまして、たいへん高い視聴を稼いでいただいているという状況になっております。

著書がたくさんおありですけれども、東洋経済から昨年、この『それでもなぜ、トランプは支持されるのか』という、まさに今のテーマの本を書いていただきまして、今これはもうほとんど在庫切れになるような売れ行きでございます。今日は、帰りにご紹介しておりますので、ご関心のある方は見ていただきたいと思えます。

皆さんはもう、今までの講演会でも、なぜトランプ大統領のような人が大統領になったのかという話が何度も出ておりましたけれども、また再選ということで、2期目のトランプ時代が始まるわけです。選挙結果を見ますと僅差でという話が多かったです。選挙結果はなくて、ヒスパニック系ですとか若者ですとか、支持が逆に増えて、大勝というかランドスライドのよう